



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

予選レポート

2026/7/18 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：曇り 気温：23℃ 出走台数：24 台

2026 シーズン初となる第 6 戦及び第 7 戦富士スピードウェイ。

今大会は荒天により中止になった第 3 戦オートポリスの代替え戦が日曜日に行われえるため、18 日（土）の午前中に第 6・7 戦の予選が続けて行われる。

土曜日の朝、サーキットは霧の中、予選が行われるか心配されたが、コースコンディションはウェットながら、天候は急速に回復し予定通り予選が開始された。

第 1 予選 A 組の牧野選手は、1 周回のウォームアップの後アタック、首位タイムを記録すると 1 周回のクールダウンを挟んで再びアタックを開始。第 2 セクターでベストタイムを記録するが第 3 セクターでタイム伸びず 5 番手で第 2 予選へ進む。

B 組太田選手は、牧野選手と同じく 1 周回のウォームアップを行いアタックラップに入る。第 1 第 2 セクターで好タイムを記録したが、第 3 セクターでハーフスピンし大きくタイムロスしてしまう。そのため続けてアタックを行うがすでにタイヤパフォーマンスのピークは過ぎており 7 位。ここで予選を終えることになった。

続く第 2 予選、予選 B 組の太田選手のコメントから、ドライタイヤも可能性ありと、牧野選手はドライタイヤを装着してコースイン。しかし路面にはウェットパッチが多く、ウェットタイヤに履き替えるためピットへ。セッション残り 4 分 30 秒でコースインした牧野選手だが、各セクターでタイムを伸ばせず、8 位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選 8 位（第 1 予選 A 組 5 位、第 2 予選 8 位）

コンディションを確認しながら順当に第 2 予選に進むことが出来ました。

第 2 予選ではドライタイヤも試してみましたがそれは機能せず、ウェットタイヤでアタックしましたが、全体的にトップからは離されたパフォーマンスで 4 列目からのスタートとなります。決勝ペースには自信があるので、まずはスタートに集中し上位フィニッシュを目指します。

6：太田格之進 選手 予選 13 位（第 1 予選 B 組 7 位）

何を基準にしていかが判断が難しいコンディションでした。

できることはやったのですが、路面状況に合わせこめなかったです。

後方からのスタートになりますが、決勝レースはドライコンディションになると思います。しっかりとレースを組み立てて挽回します。